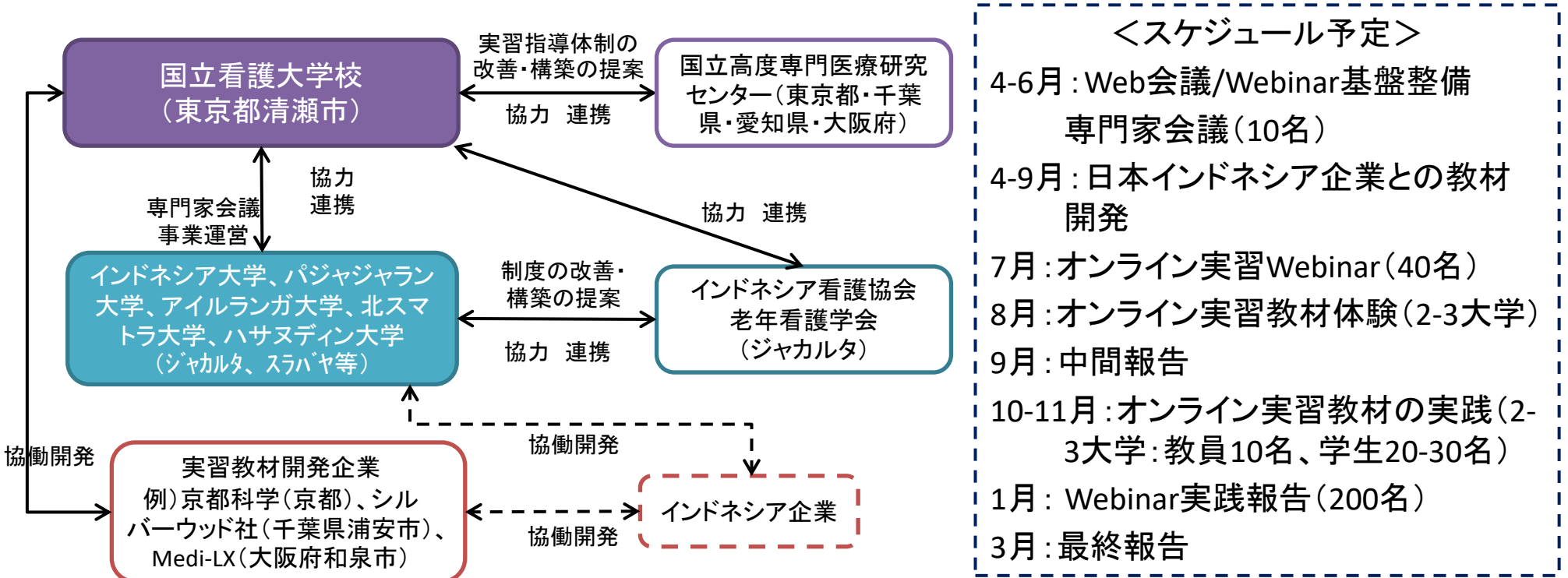


インドネシアの看護基礎教育課程における教育スキル強化事業(高齢者看護)

- 背景: インドネシアでは、高齢化が進み、高齢者看護の知識・技術の習得および倫理観の涵養を含めた実践能力の向上が求められており、特に実習指導スキルの向上が喫緊の課題である。
- 事業概要: 対象国の実習指導教員・実習指導者を対象に、国立看護大学校が日本・インドネシア両国の企業と協力・連携してオンライン実習教材を開発または活用し、対象国の看護学実習を実施する大学・病院における教材導入・活用を目的としたWebinarを実施する。
- 成果・波及効果: オンライン実習教材の対象国の実情に合わせた開発・導入・活用の支援および本事業を元にした研修の継続支援により、実習指導スキルが向上し、同国の高齢者看護の技術水準の向上に繋がる。



<スケジュール予定>

- 4-6月: Web会議/Webinar基盤整備
専門家会議(10名)
- 4-9月: 日本インドネシア企業との教材開発
- 7月: オンライン実習Webinar(40名)
- 8月: オンライン実習教材体験(2-3大学)
- 9月: 中間報告
- 10-11月: オンライン実習教材の実践(2-3大学: 教員10名、学生20-30名)
- 1月: Webinar実践報告(200名)
- 3月: 最終報告